

6月16日 月 発売
新刊のご案内

ご注文は JRC へ
FAX 03 - 3294 - 2177

北海道・恵庭 奇跡のまちづくり

チームの力で笑顔が弾けた！
幸せなまちで暮らす人たちの証言

住民たちの心を結びつけた花、市民活動を原動力とした“まちづくり”、それに手を差し伸べた行政。
少子高齢化や過疎化が進む現代、本書には危機を回避し未来を創るヒントが満載！



北海道恵庭市——。道央に位置するこのまちの名前はアイヌ語の「エエンイワ」(頭・尖っている・山)に由来し、市域の約3分の1が森林地帯である。

牧場、鉱山、自衛隊の演習場で知られた恵庭のイメージが大きく変わったのは1980年(昭和57年)の恵庭ニュータウン恵み野の分譲開始がきっかけであった。

1988年(昭和63年)、まだ開発途中にあったニュータウンに内倉真裕美は移り住む。未だ荒涼とした原野の風景が残るこのニュータウンを自分たちの子供たちが誇れる故郷にするために、彼女は花の種をまき、苗木を植えた。その第一歩はやがて住民たちの心の中で“希望”という大輪を育てていく。恵み野は個人宅の庭を公開するオープンガーデンが盛んになり、日本有数の「花のまち」として知られるようになる。そして2022年(令和4年)、恵庭に誕生した「花の拠点・はなふる」で第39回全国都市緑化北海道フェアが開催された。

見渡す限りの原野を美しい花のまちに変えた内倉真裕美の軌跡と、彼女が巻き起こした奇跡を一冊の本としてまとめたのが本書である。

監修・原案：内倉真裕美

A4判/オールカラー/本文：128頁
本体価格：1,980円(1,800円+税)
ISBN：978-4-911042-08-3
Cコード：0060

●内倉真裕美(うちくら・まゆみ)

1954年3月20日生まれ。北海道由仁町出身。1988年に恵庭に家族とともに移住。「花のまち」として知られる北海道恵庭市で8つの花の組織を立ち上げ、恵庭市の花のまちづくりを展開。洞爺湖サミットの花の町並みを提案、東日本大震災3.11 ガーデンチャリティの支援活動も行った。ガーデンアイランド北海道理事長、恵庭花のまちづくり推進会議会長も務める。

恵庭の皆さんは、(まちづくりに)巻き込まれ、気がついたら一緒にやる羽目になっている？
そしてそれが地元愛を育み、気がつけば自分の幸せになっている。ということなのでしょう。

ガーデンデザイナー
梅木あゆみ



北海道・恵庭に熱量の高い女性がいる。
彼女の力は、ガーデン愛好家たちをガッチリとまとめ、次々と目標を掲げてはみんなで達成していき、今では見事なガーデンシティが出来上がっていた。

ガーデニング誌「BISES」元編集長
八木波奈子



番線印	ご担当	ご注文	発行：ユニコ舎
	様	冊	北海道・恵庭 奇跡のまちづくり 定価：本体 1,980円(本体 1,800円+税) [新刊] 978-4-911042-08-3 / C0060 A4判/オールカラー/本文 128頁

※株式会社 JRC 経由で、すべての取次への出荷が可能です。返品は長期に承ります。